



Subaru

男声合唱団

ニュース№718

'19. 12. 12

「昂」京都祭典・合唱発表会「日々草」「朝露」の「講評」届く！

講評者名	日々草	朝露	全体評	評点
A	男声合唱の醍醐味を感じさせてくれる好演奏です。ただ、これだけの人数がいるので、mp. F のダイナミクスレンジをもっと広げて表現されるとさらに深い表現力に！！	卒のないステキな演奏なのですが、これだけの人数と実力がある男声合唱団だけに、もう少し難曲にも挑戦できると思います。	記載無し	8.9
B	緻密に仕上げられたいた事(ママ)に感服しました。言葉の表現よく伝わりました。	大編成ゆえの足取りが感があり(ママ)重厚さがある合唱でした。	記載無し	9.5
C	バランスのととてもよくとれた男声合唱。であるからこそ、Ten.の A の音がもう少し出てくると、男声合唱としてのレンジの広がり、強い説得力をもたらすと思う。	声部のバランスがとても良く、かつ厚みのある響きがあふれていて、とてもいい。	記載無し	8.8
D	とてもいいねいに歌をつられていてよかったです。音(フレーズ)の終わりの和音がくずれるときがあり、惜しいと思いました。	高音のときにハーモニーがくずれていました。	記載無し	8.3
E	優しいことばづかい、うれしいです。でも、ことばの音ちあがり(子音 etc.) クリアーにほしいかな、 <i>takusan heibon</i>	語り感がもっと見えても・・・メロディーの流れ美しいです。ラスト F の Ah 強く、柔らかい音がいいです。Bass、少々硬いか！	赤い色は強いですが、きれいです。	7.8
F	歌い出しからはっきりと K 表情豊かな表現です。少しおさえた悲しみが感じられます。ことばごとの明るさと悲しさの対比がもう少し歌えたらと思います。F でもがんばりすぎないところは好きです。	ユニゾン よくそろっています。Div. m もスムーズです。男声合唱の美しさ、幅広さを存分に楽しみました。よくそろったハーモニーです。	記載無し	9.0
G	安定した合唱 よくうたっています。すばらしい。	うた心がありますね 美しい演奏です。	・2 曲とも似ている曲想ですね。メロディー美しい曲が得意合唱団・衣装 good!	9.4

			平均点	8.814
--	--	--	-----	-------

(注：)「日本のうたごえ祭典・京都」の合唱発表会「一般のB」「昂」の2曲の講評が発表されました。伊藤さんにお手数をおかけし、表にいただきました。転載します。

なお、講評者は以下の通りですが、表には名前を伏せました。(編集子)

(日本のうたごえ協議会HP掲載の講評集から、転載し、まとめてみました。(伊藤)

(一般の部B)講評者の先生方

- ・田中嘉治(日本のうたごえ協議会会長)・石垣潔(合唱団ハモーン指揮者)・小村公次(音楽評論家)
- ・川辺甲子朗(合唱指揮者)・鈴木捺香子(声楽家)・難波洋子(声楽家)・新美佳三(つなごういのち守る合唱団・マ・モルテ指揮者)

連絡・報告事項

(1) 12月15日(日) 14:00~15:30 ねむかホールにて、

大阪のうたごえ祭典(2020年2月23日)の合同・公開練習日

「シヤハンバ」のレッスンを開催します。「昂」定例レッスン日です。レッスンの前半を合同レッスンに当てます。)楽譜を忘れないこと。

(2) 15日(日)定例レッスン終了(17:00)後、昂の京都祭典合唱発表会の健闘を祝して、「祝勝会」を行います。参加できる方はお集まりください。 於:興隆園

(投稿)

コール・セコインデのリサイタルを聞いて

向井勝弘(BR)

先日、門先生のご紹介で、レッスン指導して頂いた、恵谷先生の所属されている男声合唱団「コール・セコインデ」のリサイタルに行ってきました。

コール・セコインデは1981年に、関西学院大学グリークラブOBが主体となって結成され、結成当初は、コンクール主体で活動し、関西合唱コンクールで金賞を受賞する常連団体でしたが、近年はリサイタル主体で活動されているとのことでした。(隣席の元団員のコメント)

38年もの歴史のある男声合唱団で、団員は当団よりも少し少ない30名ほどでした。(平均年齢は50代後半かな?)

まず、オープニングで、9月に逝去された団員への追悼曲を披露され、その後、全26曲を、アカペラで、ほとんど暗譜で演奏されました。途中のクリスマスソングでは、各人がクリスマスの衣装に着替え、表情豊かに合唱するなど、工夫を凝らせたところが印象的でした。

先日のレッスンでも指導いただいた、「音質」には格の違いを感じ、男声合唱団で求められる、バス・バリトンの声の響きには魅了され、二時間半の演奏時間が短く感しました。終了後のアンコールのあと、全員玄関に出て、帰るお客様を、ロビーコールで送るなど、心温まる演出がされていました。

これぞ、どこでも歌える、アカペラの強みだとも感じた、本当に素晴らしいリサイタルで、大変勉強になりました。

来年も、是非参加したいと思っています。(2020年12月13日(日)に予定されています。)

(投稿) 関学OB恵谷さんの「コール・セコインデ」リサイタルを聴いて

千秋昌弘

立川さん、向井さん、千秋がそれぞれバラバラに関学中央講堂に行った。

千秋の感想

まず、舞台にピアノがない。最初から最後までアカペラだ。

約30人の男声が出てきた。恵谷さんが57歳だと言っていたから、その年代の人が多かったと思う。

調子笛に合わせ、見事なハーモニーが生まれる。

トップテナーはほとんどファルセットで、見事なハーモニーながらシベリウス「6つの男声合唱曲」は少々眠った。

期待していた「バーバーショップの世界」はビートルズの曲やボヘミアンラブソディーや明日に架ける橋など楽しかったがとりわけ クワルテットが素晴らしかった。バーバーショップの音楽は男声でも女声でも良いらしく、女声が2名と男性2名でクワルテットを楽しんだ。

バーバーショップとは床屋さんの音楽かなんかの知識しかなかったが、あの日の帰りの電車の中で、門さんと恵谷さんと会話する中で、サーティーンとかフィフティーンとか言う言葉が耳に残り、多分、セブンとかナインとかのその上の微妙な音楽なのかなと思った。もともと黒人はクワルテットの音楽で歌っていたそうだが、東京のうたごえ祭典で上野の音楽堂で聴いた、外国の女性4人だったか5人だったかの見事なアンサンブルと魅惑的なハーモニーを思いだしたが、あの音楽だった。

他クリスマスの音楽や多田武彦の音楽なども素晴らしく、さすが金賞や銀賞を取る合唱だと思ったが、自分にはバーバーショップの音楽が心に残った。

それとアカペラには独特の歌い方があると感じた。あの日の恵谷さんの指揮でも思ったが、呼吸を合わせ、テンポを合わせ、ハモルところは徹底的にハモらせる。ベース。バリトンがブンブンと響かせテンポを刻む。その上にテナーが歌う。ピアノなしで、ピタッと合う。

指揮そのものは上手だとは思えないが、また異質な、別の世界の指揮というか、アカペラを引き出す音楽を作る。

恵谷さんは、何度も来てもらい（金曜が空けられそう）あのアカペラの歌い方を会得する必要があると思う。昂にとっては新しい歌い方だ。

ジャズのリズムも昂は会得すればいいものを創れると思う。

ただコールセコインデのコーラスにはメッセージ性がない。訴えるものを持つ昂の良さが、あの合唱団にはない。不満だ。昂が、アカペラを会得すれば、もっと人の心を打つ演奏ができると思う。

ちあき
千秋まさひろ 2019.12.9

連絡・報告事項(3)

「昂」への出演依頼が届きました。

「人間の尊厳を守る社会の実現へ」

「戦後最大の人権侵害レッド・パージから学ぶ大阪のつどい」：2020年4月11日(土)

「大阪のつどい」プログラム

人間の尊厳を守る社会の実現へ 歴史に学び、レッド・パージに向き合う

戦後最大の人権侵害レッド・パージから70年 大阪のつどい

2020年4月11日(土)

午後1時開場、1時30分開会、4時終了予定

国労大阪会館3階大会議室

資料代500円(学生・高校生は無料)

レッド・パージ

1949～50年、政府・財界が4万人以上(大阪では数千人)と推定される共産党員・支持者、労働組合活動家を「企業破壊者」などと決めつけ、強権的に民間・公務の職場から追放した事件。
生活の向上・民主主義の確立などを要求する労働運動は大打撃を受けたが、歴代の政府・財界は、謝罪も救済措置もおこなっていません。被害者は、政府への救済勧告を求め、大阪弁護士会に申し立てています。

第1部 文化行事

男性合唱団「昂」
憲法9条を守る合唱団です。

命と暮らしを守る歌、
社会の真実を伝え、
人々の心に連帯と勇気を
引き起こす歌を演奏し
ます。

第2部 記念講演

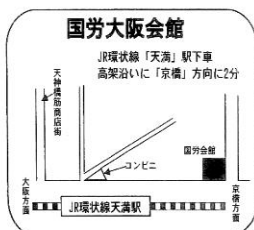
妹尾知則さん

1989年生まれ、30歳
龍谷大学非常勤講師。専門は労働法、社会保障法。「現代社会と労働」などを講義しています。
関西勤労者教育協会講師。
憲法と科学的社会主義の基礎理論などを担当しています。

第3部 交流

当事者の発言

レッド・パージ被害者の多くは190歳代となっています。「生きていくうちに名誉の回復を」と願っている方が続いています。



1:30 柳利昭実行委員長のあいさつ

3:5 文化行事 合唱団「昂」の演奏

- 「このみち」 金子みすずの詞。この道の先にはきつと何かある
- 「死んだ男の残したものは」 ベトナム戦時の反戦歌
- 「ゆらゆら春」 市川事件被告の桜井氏の作詞
- 「sixpence」 イギリスの楽天的な労働歌
- 「朝露」 韓国の歌。ろうそく革命などあらゆる所で歌われている
- 「わが母の歌」 荒木栄の最後の曲
- 「昂」 谷村新司の名曲

2:05 記念講演 妹尾知則氏

<タイトル>

人間の尊厳を守る社会の実現へ—レッド・パージに向き合う—

<往復>

はじめに—人間の尊厳と日本国憲法

1. レッド・パージとはなにか
(1) 戦後最大の人権侵害
(2) レッド・パージが奪ったもの
(3) 現代につながるレッド・パージ
2. レッド・パージと日本社会
(1) 戦後改革と反動政治
(2) 誰がなぜやったのか
(3) 現代の日本を歴史の中でとらえる
(4) 国際社会で取り残される日本
3. 学び、広げ、行動する
(1) レッド・パージを学び、広げる
(2) 市民と野党の共闘の時代に

講演後、質疑応答

3:40 発言・交流

レッド・パージの当事者
支援者、フロアからの発言

4:10 府民へのアピール

主催：大阪のつどい実行委員会 大阪市天王寺区空堀町2-3日本共産党大阪府委員会内 TEL (06) 6762-8771 ｻﾏｼﾐﾆﾝ@jcp-osaka.com